

2011年10月31日

【がん医療セミナー】
もっと知ってほしい大腸がんのこと 2011 in 札幌
アンケート結果の報告

2011年9月3日（土）、北海道自治労会館にて開催されました表題セミナーのアンケート結果を、ご報告申し上げます。93名の方にお申し込み頂き、当日は74名の方が参加され、うち、49名の方からご意見を頂きました（回収率66.2%）。

頂きましたコメントは、判読が難しいもの、表記が適切でないものも含め、原則全て記載し紹介しています。但し、掲載が不適切と考えられる数件のコメントについては、割愛させて頂いております事、ご了承下さい。

(1) あなたのお立場に○印をお願いします。

① 患者	30.6%
② 患者の家族・友人	32.7%
③ 医療関係者（医師・看護師・薬剤師・その他：）	20.4%
④ プレス関係	0.0%
⑤ その他（ 無記	16.3% 0.0%

(2) 講演に関するご感想を教えてください。

■ 基調講演(1)石黒 めぐみ 氏 「大腸がんとは？予防・検診の実際」

① 大変参考になった	53.1%
② 参考になった	40.8%
③ 参考にならなかった	0.0%
④ どちらとも言えない	2.0%
無記	4.1%

■ 基調講演(2)久須美 貴哉 氏 「大腸がんの外科的治療と補助療法」

① 大変参考になった	59.2%
② 参考になった	32.7%
③ 参考にならなかった	0.0%
④ どちらとも言えない	4.1%
無記	4.1%

■ 基調講演(3)小松 嘉人 氏 「大腸がんの薬物療法（抗がん剤・分子標的薬治療）」

① 大変参考になった	61.2%
② 参考になった	30.6%
③ 参考にならなかった	0.0%
④ どちらとも言えない	4.1%
無記	4.1%

(3) Q&A セッションに関するご感想を教えてください。

① 大変参考になった	42.9%
② 参考になった	30.6%
③ 参考にならなかった	0.0%
④ どちらとも言えない	4.1%
無記	22.4%

(4) がん治療に関する情報はどのような媒体で入手しましたか？患者さん・ご家族以外の方は、どのような媒体で入手すると思いますか？（複数回答可）

① 書籍	25	51.0%
② インターネット	29	59.2%
③ 同じ病気の患者	12	24.5%
④ がん患者会	3	6.1%
⑤ がん患者サポート団体	5	10.2%
⑥ 病院の相談窓口	14	28.6%
⑦ NPO などの相談窓口	6	12.2%
⑧ その他	6	12.2%
無記	3	6.1%

(5) がん医療を受けるにあたって、どのような情報が必要でしたか？患者さん・ご家族以外の方は、どのような情報が必要だと思いますか？（複数回答可）

① 施設情報（病院など）	22	44.9%
② 医師情報（専門医など）	35	71.4%
③ 治療法の情報	36	73.5%
④ 薬剤に関する情報	23	46.9%
⑤ 治療以外（心の問題など）の相談窓口	10	20.4%
⑥ 医療費に関する情報	21	42.9%
⑦ その他	2	4.1%
無記	1	2.0%

(6) がん対策を進める上で、どの領域がもっと重要だと思いますか？

① がんの予防の推進	28.6%
② がんの検診の推進	24.5%

③ がん治療（研究）の推進	22.4%
④ 治療後の社会的支援	12.2%
⑤ その他	6.1%
無記	6.1%

(7) がん対策推進を加速する上で患者(患者会・支援団体)の役割は重要と思われますか？

① 強く思う	51.0%
② 思う	38.8%
③ 思わない	2.0%
④ どちらとも言えない	2.0%
無記	6.1%

(8) その他、今回のセミナーに参加してのご感想・ご意見等ございましたら下記に記載ください。

【患者】

- ・情報の発信、セミナーは大変必要な事と思う。このような活動に感謝します。
- ・久須美先生に手術をして頂いて、丁度3年が経過しました患者です。結果が良くて日常は病人である事を全く忘れていた状態ですが、今回の大変貴重な内容のご講演を聞かせて頂き、自分は恵まれていたなあと思いました。素晴らしい先生に出会えた事を本当に感謝していますし、自分の辛い体験も身近な人に伝え、がんの知識をもっと広めて参りたいと思います。北海道でこのようなチャンスを与えて下さった事に感謝します。リンパの転移もなく薬物療法はしていませんので、お話はよく理解できませんでしたが、大事なことだという事は大体理解出来たと思います。ありがとうございました。
- ・大腸がんの説明で悪性腫瘍のほとんどが腺癌という説明の件、ドクターとの会話で解からない事がたくさんあり、腫瘍に関してはたくさんの不安があります。
- ・術前も術後も患者は積極的に勉強する気持ちと、ドクターと患者双方共に責任を持つこと、健康を取り戻す努力をする気持ちが大切だと思います。
- ・患者になってしまってから強く思う事は、早く検診を受ければ良かったと、兄妹にも今日の事を話して検診をすすめたく思います。
- ・今日は松本さんに会えて本当に良かったと思います。テレビでもがんばって下さい。UHBスーパーニュースを良く見えています。
- ・1ヶ月前から只今血便があり、検診中。9月6日7日、診察あります。厚生病院通院して戻ります。ありがとうございました。よくわかりました。
- ・石黒先生の「大腸ガンとは？予防・検診の実際」のお話は大変わかりやすい説明で、大腸がんについてよくわかりました。使用されたデータを印刷して配ってもらえたらありがたかったのですが。久須美先生のステージの話（ステージと治療方法・転移の話）はとてよく理解出来ました。手術だけについてもガンについてよく知っておくことの大切さも合わせて学ばせてもらいました。小松先生の転移の話はよく知るべき内容で重要であることを知りました。「薬物療法の効果」は、患者に勇気を与える良い話でした。専

門的な部分については、話、資料をカットしてもいいのでは。

ガンについて、少しはわかっているつもりでいましたが、今回の講演に参加して、きちんとわかっていないことも知りました。三人の講師の先生方、わかりやすい説明でとても良かったと思います。出来る事なら聞き流してしまわないよう、説明された内容のアウトラインだけでもプリントして配布してもらえたら良かったと思いました。尚、各都市でこのような講演が開かれると良いと思います。スタッフの皆さん、講師先生、関係者の皆さん、御苦労さまでした。

【患者の家族・友人】

- 現在の標準治療の薬剤を知る事が出来て良かった。
- 始まる前に音楽を流すのは必要ないと思います。静かな環境が最高です。
- いつもテレビで見ている松本アナウンサーの進行がわかりやすかったです。たいへん勉強しているのですね。ありがとうございます。医療費については、本当にわかりにくい。年配の方が、がんになった場合は説明しても無理でしょうというほどわかりにくい。もっとわかりやすく、というより、一律の値段にすべきではないかと思います。
- 患者は治療、絶食など一番苦しいのですが、病院入退院する時、薬の量も大変多くて、病院食から自宅の食事にもどる時、考えてしまうのは便秘しないような食事、腸閉塞も何回も起こしているので食品の事が一番気になっています。どんな食品が良いのか悪いのか？栄養士の人とも少しお話した事もありますが、腸（術後）の食事についての本とか出してほしいです。
- 大腸ガンの治療について色々勉強出来ました。各治療内容の良い点と悪い点や、医療機関の特色などが知りたいです。そのような情報を入手するにはよい方法や情報源はありますか。セカンドオピニオンについての利用の方法を知りたい。よく週刊誌に載っている名医や病院のデータは信用出来るのですか。
- 大変面白く聞かせていただきました。もう少し、機会を増やして一回一回の内容はもう少し踏み込んでやっていただけると理解も進むかなと思いました。
- プログラムの時間配分に無理があったと思います。先生方のお話は面白くためになりました。
- 基調講演③の分子標的治療をもっと詳しく知りたいと思いました。ガンとは経済の問題の病気なのだと認識しました。ガンに罹る人が多い中、安くて最大効果の薬が沢山出て欲しいと願っています。
- 昨年、身内にガンになる者が続き、甥はガン発見 2 ヶ月後の 27 歳で（スキルス胃がん）亡くなってしまいました。ガンでなくてもどの病気になっても、家族は辛く悲しいです。でも、当人は言いようのないショックを受けているので、患者、家族、諸々の人の精神的ケアも必要だと痛感しています。ガンになったらどうしよう！ではなく、ガンになっても前向きに頑張ろう！と考えられる治療法、薬品、人々のケアが進んでくれる事を祈念します。家族歴が因子になるようですので、親とか兄が大腸がんになっている自分としては、気をつけたいと思います。昨年、大腸の内視鏡をしたのですが、あとは 3 年後の検診で言われたのですが、40 歳を過ぎたら「大腸ガン年齢」を心得、毎年検診しよ

うと思います。

- 早口で聞き取りづらい、もう少しゆったりとした時間をとってほしいです。せっかく雨の中、時間をとって参加したのですが残念です。後半は特に画像が小さく見えづらい、横文字わからない。

【医療関係者】

- 外来化学療法を担当しています。最新の知見もさることながら、患者さんに寄り添い、治療を支えるヒントがないかと参加しました。一般向けとは思えない講師の先生方の内容とわかりやすさに感心しています。トークセッションでも様々な悩みがあり、勉強になりました。
- 大変興味深くセミナーをきかせて頂きました。普段、治療薬について最近変わってきている事は何となく知っていましたが、視覚的な資料が参考になりました。出来れば後からゆっくり読めるように資料があるとなお良かったと思います。
- 基調講演③の小松先生の話をもっと詳しく聞きたかった。

【その他】

- 久須美氏は早口で、もう少しゆっくり話してもらいたい。
- ガンとつきあいながら、薬物療法を続けて生存出来ると言われてましたが、日常生活で快適な笑いのある生活に努めていくことも、ガンとつきあいながら生存を続けることが可能だと思います。
- 途中拝聴でした。次回ある時は始めから拝聴させて頂きたい。とても参考になりました。
- ありがとうございました。